

第6回 浦添運動公園再整備計画検討委員会
会議録

【開催概要】

日 時	令和7年3月21日（金） 10:00～11:30
場 所	浦添市役所 6階 601会議室
議 事	(1) 各業務の取り組みについて ①陸上競技場実施設計 ②立体駐車場等実施設計 ③園路実施設計 ④運営管理事業者アドバイザー業務 (2) 今後のスケジュール（案）

【出席者】

(1) 浦添運動公園再整備計画検討委員会

委員			
神谷 大介	国立大学法人 琉球大学 工学部 准教授	出席	委員長
友寄 孝	一般社団法人 沖縄しまたて協会 技術環境研究所アドバイザー	出席	副委員長
中園 幸樹	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 公園・まちづくり調整官	欠席	代理出席 伊佐 真幸（内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部建設産業・地方整備課 課長補佐）
平良 貴洋	沖縄振興開発金融公庫 調査部 地域連携情報室 室長	出席	
金城 修	一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー 国内事業部 部長	出席	
下地 浩之	一般社団法人 沖縄県造園建設業協会 会長	出席	
照屋 満	浦添市スポーツ協会 理事 (浦添市陸上競技協会副会長)	出席	
田前 学	社会福祉法人 浦添市社会福祉協議会 事務局長	欠席	
玉城 英吉	浦添自治会会長会 小湾自治会長 (浦添市スポーツ協会理事)	出席	
西銘 耕史	浦添市PTA連合会 会長	欠席	

第6回 浦添運動公園再整備計画検討委員会
会議録

アドバイザー			
高原 直泰	沖縄S V株式会社 代表取締役CEO	欠席	代理出席 塩川 誠 (営業部長兼ホームタウン担当)
荻堂 盛助	一般社団法人 浦添市身体障がい者福祉協会 副会長	出席	
譜久里 武	一般社団法人 アスリート工房 代表	欠席	

(2) 事務局

浦添市			
川崎 淳	都市建設部 参事	出席	
平古場 祐樹	都市建設部 美らまち推進課 運動公園整備室 室長	出席	議事説明(1)①, ②
知念 正也	都市建設部 美らまち推進課 運動公園整備室 技査	出席	議事説明(1)③
外間 史矢	都市建設部 美らまち推進課 運動公園整備室 主事	出席	議事説明(1)④
多和田 真子	都市建設部 美らまち推進課 運動公園整備室 主事	出席	司会
山城 学	都市建設部 美らまち推進課 課長	出席	
比嘉 拓人	都市建設部 美らまち推進課 公園みどり係 係長	出席	
比嘉 亨	都市建設部 建築営繕課 技幹	出席	
外間 広樹	都市建設部 建築営繕課 設備係 係長	出席	
兼城 孝之	都市建設部 建築営繕課 計画工事係 技査	出席	
諸喜田 司	市民部経済文化局 文化スポーツ振興課 課長	出席	
宮城 真士	市民部経済文化局 文化スポーツ振興課 スポーツ振興係 係長	出席	
棚原 利奈	市民部経済文化局 文化スポーツ振興課 スポーツ振興係 主査	出席	

第6回 浦添運動公園再整備計画検討委員会
会議録

協力業者			
川上 哲生	株式会社 建設技術研究所	出席	令和6年度業務受注業者
畑森 翔紀	株式会社 建設技術研究所	出席	令和6年度業務受注業者

※傍聴者 浦添市陸上競技場（ANA FIELD 浦添）実施設計業務委託 受注業者：株式会社国建

【議事に対する調査、検討及び意見の概要】

議事

[事務局]	(議事の説明)
説明者	(1) 各業務の取り組みについて
平古場	①陸上競技場実施設計業務の取組状況
平古場	②立体駐車場等実施設計業務の取組状況
知念	③園路実施設計業務の取組状況
	④運営管理事業者選定アドバイザー業務の取組状況
	(2) 今後のスケジュール (案)
[事務局]	<ul style="list-style-type: none"> 本日欠席の田前委員から事前に提出のあった質問を説明。
[委員]	<ul style="list-style-type: none"> (会議資料8のP.5) 事業収支の面では、適正な運営を推進するため、施設は市民をはじめ多くの方々に利用してもらうことが大事だと考える。受益者負担の適正化について、今後どのように進めていく予定か。 (会議資料8のP.6) ②立体駐車場を独立採算による可能性について、独立採算が実現できると望ましいと考える。令和5年3月浦添市議会にて、カルチャーパーク周辺駐車場の有料化が可決されたと聞いているが、県内の公共施設等の有料駐車場料金などを踏まえ、市としてはカルチャーパーク公園全体の駐車場の料金設定をどの程度が妥当と想定しているか。 (会議資料8のP.9) ③民間収益施設について、民間収益施設の収益もプロフィットシェア・ロスシェアの対象に含まれるのか。
[事務局]	<ul style="list-style-type: none"> 受益者負担については、P5に示したシミュレーションを基に、下記1～4の流れで検討していく予定である。市が利用料金の上限を設定し、その範囲内で事業者が提案する利用料金を検討していくものと考えている。その利用料金については、市

民等の利用者や関係団体（浦添市スポーツ協会、各スポーツ団体等）への事前説明、市議会の議決を経て利用料金の改定を行い、約3～6か月程度の周知期間を以て実施することで受益者負担の適正化を図っていけるものと考えている。

1. 浦添運動公園体育施設の所管課である文化スポーツ振興課と財政課で協議し、利用料金の上限を設定
2. 市による運営管理事業者の公募
3. 運営管理事業者の応募（利用料金に関する事業者提案含む）
4. 選定された運営管理事業者と市で利用料金について最終的な協議

- カルチャーパーク公園全体の駐車場利用料金設定については、浦添市都市公園条例に準じ、大型・中型自動車：300円/時間（1台）、準中型・普通自動車：200円/時間（1台）の範囲内であると想定している。
- 民間収益施設については、事業者の自主事業のため、プロフィットシェア・ロスシェアは含まれないものと考えている。

[委員]

- 立体駐車場の有料化について、既存の駐車場も有料化とする予定か。

金城委員

[事務局]

- お見込みのとおりである。料金設定額及び有料化の時期はカルチャーパークも揃える予定である。

[委員]

- 駐車場の料金設定について、民間事業者が設定すると思われるが、その進め方について確認したい。

平良委員

- 既設立体駐車場の屋根等に太陽光発電設備の設置は可能であるか。てだこ浦西駅のパーク&ライド駐車場において、屋上に太陽光発電システムを構築し、駐車中にその発電電力を用いて電気自動車に充電する仕組みの民間提案を見たことがあるため、それと同じような提案も想定されるのではないか。

[事務局]

- 民間事業者の自主事業として実施予定であるが、条例にて上限額を規定しているため、その範囲内での設定となる。
- 立体駐車場の整備に際し、建築基準法上の特例許可を取る予定であるため、太陽光発電設備を設置する場合には、その見直しも必要となる。提案内容に応じ、当該手続きの見直しも含め、事業者側で対応することは可能である。

<p>[委員] 友寄副委員 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> （会議資料 5-1 の P. 27）雨水ピットの容量が、「1,200 m³→263 m³」に変更となっているが、単位が異なっているため、容量の差異が分かりにくい。容量設定の考え方について確認したい。 （会議資料 5-1 の P. 25）多目的トイレの面積 7 m²は男女共用での面積か。
<p>[事務局]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 容量は縮小している。単位を揃える形で示すようにする。 1階は男女共用、2階は男女それぞれ 7 m²ずつ設けている。
<p>[委員] 下地委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 民間収益施設について、景観審議会の中で、民間収益施設のデザインが公園全体の景観に配慮されるよう、デザインコンセプトの統一や審議会にもかける仕組みが必要と感じる。
<p>[事務局]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 民間収益施設に対して、景観に配慮したデザインとすることを条件として提示する予定である。
<p>[委員] 友寄副委員 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 審査委員会の中だけでは収益性の重きを置いた評価となることが懸念されるため、事業の途中段階で景観審議会や関係部署への確認を取るような仕組みを検討してほしい。
<p>[事務局]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 設計段階において、景観審議会等への意見聴取を要求水準書の中で位置づける予定である。
<p>[委員] 友寄副委員 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> （会議資料 7 の P. 7）以前の議論の中ではコンクリート面上からツタを這わせるような検討も意見として出ていたため、検討をお願いしたい。 （会議資料 7 の P. 2）スロープ及びエレベーターの新設擁壁の高さが高いため、景観に配慮した植栽計画が望ましい。
<p>[事務局]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の壁面に直接ツタを這わせると、点検等を実施する際に、対応がしにくい点が懸念され、採用は難しいと考えている。また、立体駐車場の検討の中でも、他事例ではツタ等の設置はうまく機能していない事例が多いと確認しており、採用が難しいように考えている。
<p>[委員]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本委員会とは別に市に対し、植栽に関して、現時点で判断できる範囲でアドバイス

下地委員	<p>を行っている。緑で全体を覆うよりも部分的な植栽計画が望ましいとアドバイスしているが、今後も引き続き、検討が必要と考えている。</p>
<p>[委員] 神谷委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 災害時の雨水タンクの設置に対し、県の補助があったと記憶している。活用可能か検討してはどうか。 • (会議資料 5-1 の P. 31) 夜間照明が無くなったとの理解で良いか。災害時等に太陽光発電設備との連動により、避難時の照明が確保できる提案も検討の余地があると考えている。
[事務局]	<ul style="list-style-type: none"> • ご意見をもとに、活用可能性を検討する。 • 夜間照明を無くしたわけではなく、夜間照明の支柱が高額であるため、施設屋根に設置することを検討している(岡崎市龍北スタジアムを参考)。防災の観点については、運動公園内施設の防災時の活用について検討しており、非常用発電設備を設置することを検討している。
<p>[委員] 神谷委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> • スケートボードの利用について、公園内の手すりなど、一部利用制限をかける等も検討した方がよい。
[事務局]	<ul style="list-style-type: none"> • 現状、スケートボードについては、レストハウスのオープンスペース上側に既設のスケートボードエリアがあり、その一部が設備設置に伴い、縮小している状況にある。スケートボードについては、機能の拡充を図り、スケートボードパークを整備する予定であり、エリアを限定した利用について利用者に周知していきたい。
[委員]	<ul style="list-style-type: none"> • (会議資料 5-2) サブスタンドのテント設置についてはどのような計画か。
照屋委員	<ul style="list-style-type: none"> • (会議資料 5-2 の P. 2) 陸上競技場の諸室について、施設 1 階中央部分に「電気室・受水槽・ポンプ室等」が設置されているのはもったいないように感じる。
[事務局]	<ul style="list-style-type: none"> • ご意見を基に、テント設置できるよう検討中である。 • 既に実施設計が進んでおり、地下部分にボックスカルバートもあることから、今からの諸室配置の変更は難しい。フィールドからの見え方には留意して検討する。
<p>[委員] 友寄副委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> • (資料 8、P. 8～9) Park-PFI は 20 年間の設置期間の上限があるが、事業期間 30 年も可能なのか。

長	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技場の整備工事を事業に含めることを検討されているが、「整備工事」の時期が「事業者選定アドバイザー業務」の期間と合っていないが、その関係はどのように考えているのか。
[事務局]	<ul style="list-style-type: none"> コンセッション事業の事業期間として、「30年間」での実施可能性があることを確認している。民間収益施設の設置期間については、事業者の提案を踏まえながら、引き続き検討が必要と考えている。 陸上競技場と立体駐車場の建設を事業範囲に含めるかは、事業者からの意見を聞いているが、今後庁内及び内閣府等との調整が必要である。
[委員] 神谷委員長	<ul style="list-style-type: none"> 資料7に複数案の提示があるが、本委員会の中で方針を決定する必要があるのか。
[事務局]	<ul style="list-style-type: none"> 本委員会では、あくまで計画案に対し、意見をもらえればよく、本委員会にて決定するものとは考えていない。
[委員] 金城委員	<ul style="list-style-type: none"> 利用料金の設定について検討されているが、利用者側との合意形成はどのように考えているのか。
[事務局]	<ul style="list-style-type: none"> 田前委員からの意見と同様に考えている。
[委員] 神谷委員長	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技場の供用開始時期は、令和9年度からとなる予定か。
[事務局]	<ul style="list-style-type: none"> 整備スケジュールについて、当初2年程度の期間を想定していたが、内容を精査する中で、3年程度の工事期間がかかる見込みとなった。その中でPFI事業としてその整備を事業範囲に含め、民間事業者の創意工夫により、出来る限り工期短縮できないか検討していきたい。
[委員] 玉城委員	<ul style="list-style-type: none"> 県民体育大会は浦添市運動公園が利用できないため、沖縄市での開催となった。令和10年11月に次の大会が開催されるため、その開催に間に合うと望ましい。 テントの設置について、50張の設置可能な計画を希望しているが、サブスタンドの一例目に各チームのテント(14張)を設置するため、そちらに設置しやすいよ

うに留意してほしい。

- [事務局]
- 県民体育大会の開催も念頭に置きながら検討は進めている。出来るだけ間に合うように検討を進めていきたい。
 - 樹木の伐採は必要と考えているが、緑に囲まれた陸上競技場がこれまでも親しまれており、そのコンセプトが継続できるよう検討を進めたい。

<委員会終了後のご意見>

- [委員]
荻堂アドバイザー
- 陸上競技場第3ゲート付近の身障者用駐車場から、メインスタンド部分までの進入路について、車椅子使用者が利用しやすいよう、勾配を減らす等の工夫を行ってほしい。

- [事務局]
- ご意見を基に検討する。

以上